

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区浅野3-1-26

団体名 株式会社ギラヴァンツ北九州

代表者 石田 真一

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきかいしゃぎらうあんつきたきゅうしゅう
団体名	株式会社ギラヴァンツ北九州
(ふりがな)	だいひょうとりしまりやくしゃちょう いしだ しんいち
代表者氏名	代表取締役社長 石田 真一
所在地	市内事業所 北九州市小倉北区 浅野3-1-26
	主たる事業所
事業概要	プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の運営等
企業・NPO法人等の別	企業
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）
従業員数（企業のみ）	21～50人
ホームページの有無	有
ホームページURL	https://www.giravanz.jp/

連絡先

担当部署	地域連携推進本部 サステナビリティ部
担当者	伊藤敬人
電話番号	093-863-6777
メールアドレス	ito@giravanz.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

企業名 株式会社ギラヴァンツ北九州

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市基本計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					ホームゲーム時の「ノーマーカーデー」の実施 クラブハウスにて再生可能エネルギーの使用 「ゼロボード」を使用した排出量の数値化・可視化	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	㉑
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					服から服へプロジェクト (衣服を回収し、新しい衣服・グッズに変える) スタジアムでのウォーターサーバー設置 紙コップから野菜へ (紙コップを堆肥化し、野菜を栽培) イトレイの導入 (一部ホームゲーム時に食べれる器を導入)	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	㉑
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					クラブハウスにて再生可能エネルギーの使用 イトレイの導入 (一部ホームゲーム時に食べれる器を導入) 古紙回収イベントを実施し、エコカバーを配布	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	㉓
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					Jリーグの定めた基準に則って適切な観戦環境を提供	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール11	㉔
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					田川市の規格外サツマイモをスタジアムで販売 鳥獣被害に悩むみやこ町と地元大学生の連携でジビエメニューの開発および販売 ホームゲーム時、イベント時にフードドライブの実施	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール12	㉑
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					在宅勤務、時間差出勤を推奨	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	㉖
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組む、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					Jリーグによる選手・社員向け人権研修の実施 ファン・サポーターに向けた人権啓発活動の実施 (教育・広報活動)	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	㉑
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					コンプライアンス研修の実施 コンプライアンス担当の設置 スタジアムでの啓発動画の放映	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール10	㉑
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					定期的な健康診断を実施 産業界による定期面談も実施を検討中 予防接種 (インフルエンザ) の補助	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	㉗
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					新人・若手社員向けのビジネス研修の実施 大学生・専門学生向けのインターンシップを実施 サステナリティの実施 スクール☆ギラヴァンツの実施	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール17	②
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報情報の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	㉔
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					サステナビリティ部の設置 選手・スタッフ向けにサステナビリティ研修を実施	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	㉑

※CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和8年2月25日
 団体名 株式会社ギラヴァンツ北九州

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

ギラヴァンツ北九州は、2021年に始動した「With!! KITAKYUSHU」プロジェクトをさらに進化させ、地域との連携をより強固なものへと引き上げます。私たちは、プロスポーツの枠を超えたパートナーシップを通じて、脱炭素社会の実現や共生社会の構築など、新たなイノベーションを北九州（まち）から創出します。SDGsを軸とした活動を「日常」へと定着させ、持続可能な未来を地域の皆様と共に切り拓いていきます。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野 に「○」	SDGs達成に向けた 重点的な取組	指標（KPI）・目標値		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係		
		※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある重 点戦略との関係		最も関連性のある 「北九州市基本計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載でも可
経済	SPLに参画し、北九州市環境局と連動した環 境問題の取り組みを行う	指標 (KPI)	SPL順位	稼げる まち	○	指標
社会		目標値		彩りあ るまち	○	⑪
環境		その他 (その他の場合)	10位以内ランクイン			安らぐま ち
環境	○	(2026)年				
経済	人材教育プログラムを計画・実施する	指標 (KPI)	サステナトレセンの実施	稼げる まち		指標
社会		目標値		彩りあ るまち	○	⑧
環境		その他 (その他の場合)	1校/年			安らぐま ち
環境		(2026)年				
経済	子どもたちや生活困窮者の食を支える一助となる	指標 (KPI)	フードドライブや食の寄付 回数	稼げる まち		指標
社会		目標値		彩りあ るまち	○	⑩
環境		その他 (その他の場合)	2025年→4回実施 2026年→5回実施			安らぐま ち
環境	○	(2026)年				

記載について

- ・「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて

団体名：株式会社 ギラヴァンツ北九州

SDGsの達成や地域課題の解決に、パートナーシップを通じて取り組むために、自らの組織が提供できる価値や必要としているものについて記入してください。

◆1)自らの組織が提供できる価値(商品・サービス・ノウハウ)

誰の (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	どんな課題に対して どんなSDGsゴールに対して	何を使って	何が出来るか	キーワード(3つ~5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
企業・自治体・子ども	4:質の高い教育をみんなに 17:パートナーシップで目標を達成しよう	ギラヴァンツ北九州主催のイベント (サステナブルレゼン・スクール☆ギラヴァンツなど)	地域経済と教育を結び付ける	人材育成 社会連携活動 サステナビリティ パートナーシップ 地域課題解決
企業・自治体・教育機関	13:気候変動に具体的な対策を 17:パートナーシップで目標を達成しよう	SPL (Sport Positive Leagues) クラブの発信力 (SNSやスタジアムなどの発信の場)	環境の取り組みの実証と発信	SPL (Sport Positive Leagues) 広報 地域課題解決 サステナビリティ パートナーシップ
市民	3:すべての人に健康と福祉を	サッカー教室 GOP (ギラヴァンツ・オープンマインド・プログラム)	次世代育成 ウェルビーイング ひきこもり支援	健康教育 人材育成 ひきこもり支援

◆2)自らの組織が必要としているもの(商品・サービス・ノウハウ・連携先)

解消したい地域課題・達成したいSDGs目標	自分たちの組織に不足している要素 (人材・製品・サービス・ノウハウ・技術・連携先・資金)	どのような利害関係者と (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	課題を解決するために何をしたいか	キーワード(3つ~5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
13:気候変動に具体的な対策を	ノウハウ・技術・連携先・資金	全て	ステークホルダーと連携した気候変動に対する取り組み これまでクラブやリーグに実績のない新規の取り組み	気候変動 サステナビリティ パートナーシップ 社会連携活動

記載について

- ・1)および2)の各項目について具体的な内容を記載して下さい。